

# 落下頻発「米軍に油断」

## F15事故 周辺住民ら憤る

【中部】嘉手納基地所属のF15戦闘機からエンジンの構成部の部品の一部が落下したことを受け、同基地周辺自治体の首長や住民から怒りと不安の声が上がった。仲井真弘多知事も事故が頻発していることに疑問

を呈した。

(一面参照)

同基地周辺自治体の首長で構成する嘉手納飛行場に關する三市町連絡協議会(三連協)会長の富山宏嘉手納町長は「落下事故が起こりすぎだ。昨年の10月以

降、嘉手納所属機が3度。常識で考えても理解できない」と憤る。沖縄市の桑江朝千夫市長も「前市長や三連協が抗議を続けているにもかかわらず事故が相次ぎ遺憾だ」と憤り、「いくら軽い部品でも上空から落ち

れば危険。事故防止を徹底してくれ」と要請しかできず、ジレンマを感じる」と話した。

仲井真知事も「最近、ちよつと管理がおかしい状況ではないか」と落下事故の頻発に苦言を呈するとともに、米軍の管理を疑問視し、

知事公室に再発防止や原因究明などの申し入れを指示したと説明した。

同基地に隣接する嘉手納町東区の島袋敏雄自治会長は「これだけ落下事故が続くのは、米軍に油断があるのではない。騒音だけでなく落下事故にもおびえて

は、われわれの生活はままならない」と語気を強めた。北谷町砂辺区の伊禮嶺生自治会長は「原因も分からないのに上空を飛ぶなんて、住民を何だと思っているのか。立て続けに起きており、住民の怒りも爆発寸前だ」と憤った。

うるま市喜仲自治会の新垣恒雄自治会長は「原因が分からないと言っているが、言いたくないことは公表していないだけではないのか。物損事故やけが人が出てから情報公開するので遅い」と、米軍の対応に不信感を示した。

# F15また部品落下

## 嘉手納所属 訓練中原因は不明

【中部】米空軍は16日、嘉手納基地所属のF15戦闘

機のエンジンを構成するオーグメンター・ブリッジ・クランプと呼ばれる金属製の部品の一部がなくなつたと発表した。15日の訓練中に脱落したとみている。原因や落下地点は不明で、被害情報はないという。

### (29面に関連)

ジェットエンジンの排気に燃料を吹きかけて燃焼させ、高推力を得る装置の部品で、縦4・5センチ、横4センチ、重さ17キロ。30枚あるうちの1枚という。

同機は沖縄本島の南東海上の訓練空域で訓練後、15

日午前10時半に嘉手納基地に着陸。整備士が機体を点検したところ、午後2時ごろ部品の遺失が判明した。米軍は「目に見えないほどの亀裂があった」と原因を示した。

米軍は15日午後6時半ごろ、防衛局に通報。防衛局は、県や嘉手納町、北谷町、沖縄市、うるま市などに情報を提供した。また、米空軍第18航空団に、原因究明と再発防止の徹底を求めるとともに、度重なる航空機事故の発生に遺憾の意を口頭で伝えた。